

審査対象外部部門

1. 出場について

- 1) 出場の際は大会参加指針及び大会参加同意内容を理解し参加するものとする
- 2) Half-Time USA (夏の大会、地区大会) では、クラブチームの団体はクラブチーム実施日にエントリーしてください
- 3) 各大会の詳細に関しては、必ず開催要項をご確認ください

2. ルールについて

- 1) 審査対象外部部門は下記の通り2分される
 ① Half-Time USA (夏の大会、地区大会で実施) / ② Show-Time USA (全国選手権大会で実施)
- 2) 上記①、②いずれも、演技内容全般については競技規定 (P3-4) に準ずるものとする
- 3) 審査対象外部部門の演技規定については、以下参照

3. 演技規定

<演技規定> ① Half-Time USA (夏の大会、地区大会で実施)

地区大会、及び夏の大会で実施される審査対象外部部門 Half-Time USAでは、年齢に関わらず下記に従って実施すること

項目	内容
1.演技時間	2分00秒以内
2.手具・道具	自由とする ※【補足】①参照
3.構成	自由とする (但し、以下タンプリング・スタンツ・ダンスリフトの内容は遵守すること)
4.セーフティ	① 安全性を考慮していない危険な行為、フロアを傷つける恐れのある行為は禁止 ② 怪我等の事情で、硬く曲がらない・表面に凹凸があるギブス・コルセットをする際は適切な素材でカバーすること ③ 手に体重をあげける動作は、何も持っていない状態で実施しなければならない (例外：前転・後転) ④ 自立する大道具に体重を乗せる事は可。それ以外の小道具、大道具に完全に体重を乗せる事は不可 ⑤ 立位、逆さの体勢やターンから、膝・腿・座位・うつぶせ・仰向け・スプリットポジションの姿勢になる場合は、少なくとも片手または片足に先に体重が乗るように行うこと ⑥ ジャンプ・空中から演技フロアへ着地する場合は、少なくとも片足に先に体重が乗るように行うこと 但し、ジャンプ・空中に浮いた際の手の位置が腰レベルより下の場合に限り、手 (片手含む) からの着地が可能。後方への進入は不可。(ダブルシフトは実施可。シュシュノバのバリエーションは全て禁止)
5.個人で実施するもの タンプリング <有効技>に限り実施可能 実施できるが推奨されない 実施の際は	① 静止・歩行から実施可 (走り込み・飛び込みからは不可 ※例外：ロングアート) ② タンプリングは単発・コンビネーションともに実施可 ③ タンプリング中の人の上や下を、タンプリングしながら通過するのは禁止 <有効技> 前転、後転、シオルダーロール、側転、チェストロールダウン、倒立、頭支持倒立、立ちブリッジ、前/後方転回、ロングアート、ストール、キップアップ、マカコ ※有効技は片手での実施も可 ※手具を持った手に全体重をあげける動作は実施不可 (前転・後転は持ったまま実施可) <禁止技> 上記以外全て ※【補足】②参照
6.グループ/ペアで実施するもの リフト パートナーリング	① 演技フロアに体の一部が触れている状態で、人に体重を預ける・寄りかかるなどは実施可 ② リフトの実施不可 (他者を持ち上げる・下ろす、または他者に持ち上げられる・下ろされる動作) ③ 人に体重をかけて演技フロアから完全に離れる行為 (背中を転がる・人の上に乗るなど) は、下記の条件を満たしている場合のみ実施可 a. 補助されず自力で行う事 b. フロアから離れた状態で、動きを止めない事 (人にしがみついたまま、乗ったままの状態などは不可) c. 演技フロアに着地するまで体重をかけている相手と触れ続ける事 ※Pom・手具を持った手に全体重をあげける動作は、セーフティ違反になるので注意

【補足】①手具・大道具の設置

演技中に使用する全ての手具・大道具は、選手自身でフロア内に運び入れ・設置・撤去できるものでなければならない

②タンプリング禁止技

有効技以外の全てのアクロバティック・体操的な技
 <例> 前方・後方倒立回転跳び、前方・後方宙返り (伸身含)、飛び込み前転、側方宙返り、ヘッドスプリングなど

<演技規定> ② Show-Time USA (全国選手権大会で実施)

全国選手権大会で実施される審査対象外部部門 Show-Time USAに限り、競技部門に則った演技規定とする
 メンバーの年齢や演技構成に関しては、ルールブックP.2の全ての編成・部門が該当する